

令和3年度 宮古商工高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～ 適切な休養は教育活動のエネルギー ～

宮古商工高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状	2 目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1ヶ月当たりの時間外勤務が100時間を超えた月があった教職員が2名、80時間を超えた月が1回以上あった教職員が全体の23%に及ぶ。(令和2年度育休者を除く実績) ・ 週休日の部活動指導、大会引率に関わる長時間勤務が目立つ。 ・ 校舎制であるため校舎間の業務連携に伴う連絡調整や、部活動バスの運行管理などの新規の業務が職員の負担となっている。 ・ 行事などの実施計画、運営にあたって、新型コロナウイルス感染防止対策のための日々刻々と変化する状況への対応が、職員の負担となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員一人一人が、仕事へのやりがいを感じながら、余裕を持って計画的に業務に取り組むことができている。 ・ 限られた活動時間であっても、生徒が主体となって効率よく効果的な活動を行い、成果を発揮できる充実した部活動が成立している。 ・ 残業が当たり前の風潮をなくし、ノウハウの共有や業務改善に取り組み、組織として効率よく業務をおこなうことができる高い能力を持った職員集団の形成。 ・ ワークライフバランスについての職員の意識改革を進め、生活にゆとりを持ち、満足感が向上している。

3 取組内容		
○ 教職員の健康管理	○ 学校における業務改善の推進	○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外勤務時間数が多くなりそうな職員については、振替休暇の取得、年次休暇の取得について積極的に声がけを行い指導します。 ・ 時間外勤務時間数が多い職員については、適時に管理職が面談をおこない健康状態の変化を見逃さないようにします。 ・ 管理職から積極的な声がけをおこない、教職員がストレスや悩みを相談しやすい職場の雰囲気醸成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週休日等での教職員が生徒と一緒に携わる外部イベントへの参加を再検討し、精選する取り組みを行います。 ・ 部活動に係る活動方針をもとに部活動の適正化を推進します。また、部活動指導員制度を活用し職員の負担軽減を図ります。 ・ 管理職が、校務分掌事務等の助言、支援を積極的に行い、教職員をバックアップします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として、週休日等の大会引率業務は振替を取得することとし、部活動業務の適正化を図ります。 ・ 地域行事でのボランティア活動等について、主催者の管理監督のもとで対応する形とするなど、教職員の業務の軽減について関係機関、地域と一体となって取り組みます。

4 目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外在校等時間が月100時間以上の者を0（ゼロ）にする。 ・ 時間外在校等時間が月平均80時間以上教職員→前年度比3割削減（全体の16%以下） ・ 時間外在校等時間（週休日の部活動指導従事時間を除く。）が月45時間超、年360時間超の教職員→全体の2割以下 ・ 月1回以上の年次取得→100%

令和3年6月20日 岩手県立宮古商工高等学校長 菅原 一志

<p>(参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)</p> <p>【策定趣旨】 ○ 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。</p> <p>【プランの期間】 令和3年度～令和5年度までの3カ年度</p> <p>【プランの目標】 目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減 (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者を令和3年度からゼロにする。</p>	<p>(2) 時間外在校等時間（週休日の部活動指導従事時間を除く。）が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり段階的に縮減する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="font-size: small;">時間外 在校等時間</th> <th colspan="3" style="font-size: small;">取組期間</th> </tr> <tr> <th style="font-size: small;">令和3(2021)年度</th> <th style="font-size: small;">令和4(2022)年度</th> <th style="font-size: small;">令和5(2023)年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">月45時間超</td> <td style="font-size: small;">令和2年度実績の 5割減</td> <td style="font-size: small;">令和2年度実績の 8割減</td> <td style="font-size: small;">ゼロ</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">年360時間超</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上 令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。</p>	時間外 在校等時間	取組期間			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	月45時間超	令和2年度実績の 5割減	令和2年度実績の 8割減	ゼロ	年360時間超			
時間外 在校等時間	取組期間															
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度													
月45時間超	令和2年度実績の 5割減	令和2年度実績の 8割減	ゼロ													
年360時間超																